これまで理論がいささかなりとも
現場に役立ったためしがあるのだろうか。
医療、看護、相談、援助など、急を要する支援の現場で、
悠長に構えた社会科学者の言説に何がしかの意味があるとしたら、
それはいったいどんな？
個人の生の多次元性と自由（freedom）を基盤に据える
アマルティア・センの理論
――20 世紀社会科学の一到達点ではある――を
臨床現場から批判的に検討しませんか？

前回、台風によりやむを得ず開催を延期しましたが、皆様からの強いご期待に応え下記開催日を決定しました！

支援のこれから研究会議第 2 弾！ **参加費無料**

ケイパビリティ・アプローチの臨床的展開に向けて

日時:2012 年 12 月 1 日(土) 13:00～18:00　**会場:立命館大学 国際平和ミュージアム 2 階会議室**

###プログラム###

13：00	セッション 1：臨床実践 編 報告①：「障害者の権利条約の実施――国内外の課題――」 長瀬 修 ：立命館大学衣笠総合研究機構特別招聘教授 報告②：「エビチリいっちょう！――本人さんとわしら――」 清水 明彦：西宮市社会福祉協議会障害者生活支援グループ（青葉園・のまネット西宮）グループ長
15：00	休憩
15：20	セッション 2：社会理論 編 報告③：「ノマド：逃し続ける運動」 後藤 隆：日本社会事業大学教授、ＮＰＯサーベイ副代表　＊ペーパー代読 報告④：「ケイパビリティ――本人が選ぶ理由のある生のかたまり――に基づく社会的選択」 後藤 玲子：立命館大学大学院先端総合学術研究科教授
16：20	休憩
16：30	セッション 3：討議 発題：立命館大学院生・修了生他
18：00	終了（予定） 引き続き、19：00 より居酒屋「あんぽんたん」にて懇親会（飲料のみ会費制）を開催します。

###参加申込方法###

参加ご希望の方は、下記の申込フォームを参照のうえ、E-mail、ファクシミリいずれかの方法にてお申込ください。

E-mail	件名を「12/1 研究会議参加希望」とし、本文に氏名・所属職名・連絡先、研究会議／懇親会の出欠等をご記入ください
ファクシミリ	下記の申込フォームに必要事項を記入し、ご返信ください

E-mail：genbun@st.ritsumei.ac.jp　　ファクシミリ 075-465-8245

事務局：立命館大学国際言語文化研究所（担当：川根／新免）　〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1　電話 075-465-8164

###申込フォーム###

氏名・（フリガナ）	所属・職名	E-mail アドレスまたは電話連絡先	研究会議	懇親会
（　　）			□ 出席 □ 欠席	□ 出席 □ 欠席

主催：日本学術振興会・科学研究費助成事業・学術研究助成基金助成金基盤研究（C）（課題番号 23530344）「潜在能力アプローチの臨床的適用プログラムの設計-福祉経済学の試み―」（代表者：後藤玲子）、立命館大学国際言語文化研究所・研究所重点研究プログラム「国際正義共生研究会（カタストロフィと正義）」

RITSUMEIKAN